



《将来に向けた取組方針》

中部電力グループは、地球環境に配慮した良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けすると同時に、「コミュニティサポートインフラ」の創造による「新しいコミュニティの形」を提供し、「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」として、持続的な成長を目指していきます。

この実現に向けて、環境経営を的確に実践するとともに、社員一人ひとりが自ら律して行動し、地球環境に配慮した持続可能な社会の発展に貢献するとともに、豊かな自然環境を守るために多様な生物の生態系に配慮し、事業活動を行います。

「ちゅうでんフォレスター」「ちゅうでんインタープリター」の人財育成



「ちゅうでんフォレスター」は2006年の1期生から累計290名、ちゅうでんインタープリターは累計156名を育成。

社有林の内ヶ谷山林等において、当社およびグループ会社の従業員等を対象に間伐技術を有する森林ボランティア「ちゅうでんフォレスター」や、自然環境保全の大切さを伝える「ちゅうでんインタープリター」を育成しています。「フォレスター」や「インタープリター」は、「森づくり体験」や「森林体験」の講師や案内人として活躍するほか、NPO法人「水とみどり愛する会」の会員となり「人工林間伐」のボランティアとして中部地域を中心に活動しており、こうした活動を通じて自然環境保全や生物多様性保全の大切さを伝えています。



私たちは、森を育て、人を育て、
自然と共生できる社会を目指します。